

2024 アウルズ紫波スポーツアカデミーについて

◎事業の目的

1. 基本的な体力・筋力の向上、バレーボールのスキルアップを目指すなかで、多くの仲間や大人との交流を通じて社会性を育み、生きる力を育成する。
2. 様々な分野で活躍ができるリーダーの育成。
3. トップアスリート・レクリエーション・教育・経営など、生涯様々なかたちでバレーボール（スポーツ）に関わっていく資質や能力を育成する。

◎各カテゴリーでの目標

☆PLAY クラス（3歳～6歳）

「日常生活ではあまり使われない筋肉や身体の使い方を実践し、心身ともに健康でスポーツ好きなアカデミー生の育成を目指す。」

☆U9・U12（小学校1年生～小学校6年生）

「日々の練習の中で個人活動や仲間との協力を通じた課題解決による達成感を味わい、将来的にスポーツ（バレーボール）がアカデミー生の自由時間の選択肢となることを目指す。またアカデミーを通じて時間の使い方や健康管理について考えることで、基本的な生活習慣の確立を目指す。」

☆U15（中学生1年生～中学3年生）

「生涯スポーツを目的とするなかで、様々なスポーツの中からバレーボールを選択することができる技術や専門的な知識を習得し、自主的・自発的な活動を目指す。」

☆TOP（年齢制限なし）

「トップチームの選手と多く関わることで、バレーボールスキルに必要な知識・フィジカルを身につけ、県内・全国・世界に通用する選手の育成を目指す。特に、バレーボールにおいて大事なパススキルや戦術理解に重点を置いて指導する。」

◎アカデミーの特徴

当アカデミーは、岩手県紫波町に所在する日本で1つしかないバレーボール専用アリーナ「オガールアリーナ」で週2～3回活動しています。コーチは、全日本クラブカップ優勝3回の岡崎建設 Owls 監督をヘッドコーチに、現役選手や引退した選手、コーチ資格や教員免許をもったスタッフで構成されています。

練習では、日頃トップチームで実践している練習内容やトレーニング内容を学ぶことができます。また例年オガールアリーナでは、Vリーグチームの合宿（東レアローズ男子・PFU ブルーキャッツ・東京グレートベアーズ・NEC レッドロケッツなど）や日本代表をはじめとした各国の代表が合宿しており、合宿の際にはアカデミー生限定（TOP クラス）の練習会や交流の機会があります。一昨年度から開催しているVリーグ紫波大会では、アカデミー生がエスコートキッズ、大会運営スタッフを担い、当アカデミーでしか味わうことのできないトップレベルのバレーボールに触れる機会が多くあります。